

# 志小安全・防災だより



H30.10. 1 No.24  
安全・防災担当：早坂 潤

## 低学年の校外学習では大変お世話になりました！

先月1, 2年生が、仲松さんの“なかよし園”に校外学習に行きました。1年生は生活科の学習で、2年生は図工の学習でということで、それぞれ学習のねらいは違いますが、子どもたちは、昆虫や動物たちとじっくりふれ合うことができる貴重な時間となりました。この日は朝から気温も上がり山道を少し歩いただけで汗びっしょりとなるような暑い日になりました。そのよう日でも、1, 2年生それぞれの校外学習の時間に合わせて、“くろしお見守り隊”



の方々が、子どもたちの後ろに着いてくださったり、道路で危険なところに立ち、子どもたちの歩行を見守ってくださったりしていただきました。また、“なかよし園”でも、子どもたちと一緒に活動していただいたお陰で、子どもたちも私たち職員も、安心して“なかよし園”の生き物や自然とふれ合うことができました。この日に向けていろいろ

と準備をしてくださった、仲松さん、そして“くろしお見守り隊”の皆様、どうもありがとうございました。

## 3年生で防災に関する学習を進めています！

3年生の総合的な学習の時間では、「より安全なひなんを考えよう」という題材で、現在の日本で発生している自然災害や自分たちの身の回りでもこれから発生しそうな自然災害について学び、どのような備えをしていくことが自分の命を自分で守る自助につながるのかを学習しているところです。先日の授業には、私も入れていただき、北海道で発生した大きな自然災害が、どこでも起こり得ること、宮城県の中で自分たちが住んでいる海岸沿い以外の内陸部ではどのような自然災害が発生していたのかに目を向けさせ、首藤先生と授業を進めました。子どもたちは、ニュースや新聞等から、自然災害についていろいろな情報を得ていると見え、自然災害の種類や現在日本の中で発生している自然災害が人々にどのような恐怖を与えているのかなどを話すことができました。また、南三陸町のハザードマップから、津波での浸水区域の他に、土砂災害が発生しやすい場所を地図から見付けることができました。



子どもたちは、ハザードマップから感じ取ったことをグループの友達と話し合い、身の回りの危険箇所について見付け出すことができました。このような活動を通して、いざというときに自分や家族の身を守るための行動も考え出していました。

